

# 参加者募集！公開ミーティング

# 「小豆島の学びの場を考える」

豊かな自然に囲まれ、穏やかな内海に浮かぶ小豆島。昔から風待ち・潮待ちの港がある船の中継地であり、海を介して人々は交流し、多様な文化が育まれてきました。巡礼のための山岳霊場、農村歌舞伎、塩・佃煮・醤油づくり、地域の祭りなどは、自然とともに島を支えています。そして今、人と人がつながることで、私たちはなにを見つめ、どんな文化や営みを生み出すことができるでしょうか。「学び」という観点から、これからの小豆島について語り合うオープンな会です。

日時 | 2017年7月30日(日) 13:30~15:00

場所 | 旧醤油会館  
(香川県小豆郡小豆島町馬木甲 36-2)

定員 | 30名程度 \*無料

参加 | どなたでも参加いただけます。

\*会場には駐車場はございませんので、ヤマサン醤油前の公共駐車場か、馬木キャンプ横(軽四のみ)の公共駐車場をご利用ください。

当日、瀬戸内国際芸術祭などで小豆島にゆかりのある、椿昇さん、服部滋樹さん、多田智美さんも参加します！

椿昇

1953年京都市生まれ。関西を拠点に、1980年代から活動する現代美術家。京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科教授。2009年、京都国立近代美術館「椿昇 2004-2009: GOLD/WHITE/BLACK」、2012年、霧島アートの森(鹿児島)にて「椿昇展 “PREHISTORIC\_PH”」を開催。瀬戸内国際芸術祭 2013 小豆島「醤の郷+坂手港プロジェクトー観光から関係へ」、2016年の芸術祭では「小豆島町未来プロジェクト」のディレクターを務める。

服部滋樹

1970年生まれ、大阪府出身。graf代表、クリエイティブディレクター、デザイナー。1998年、grafを設立。建築、インテリアなどに関わるデザインや、ブランディングディレクションなどを手掛け、近年では地域再生などの社会活動にもその能力を発揮している。瀬戸内国際芸術祭 2013、2016のgraf《小豆島カタチラボ》、2016年にジェラテリア「MINORI GELATO」の監修・デザインなどを手がける。

多田智美

1980年生まれ。編集者。MUESUM代表。「出来事の創出からアーカイブまで」をテーマに、書籍やフリーペーパー、WEB、イベントなど幅広くメディアの企画・編集を手がける。瀬戸内国際芸術祭 2013 小豆島「醤の郷+坂手港プロジェクトー観光から関係へ」では企画運営を務めた。2016年の芸術祭では、小豆島・坂手にて《Creator in Residence「ei」》をUMA/design farmや滞在したクリエイターとともに展開。

主催 | 小豆島町 助成 |



平成29年度文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

協力 | 小豆島カメラ

問い合わせ | 小豆島町企画財政課 TEL:0879-75-1800